

# U.S. Indicators

## 米国 景気減速に歯止め(15年4月ISM非製造業・総合景気指数)

発表日：2015年5月5日(火)

～非製造業部門が堅調さを維持～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

### ISM非製造業景気指数

	総合指数		ISM非製造業景気指数							
		活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	輸入	在庫変動
14/04	55.3	60.3	58.3	52.2	50.5	49.0	60.4	57.0	55.5	55.5
14/05	56.1	61.1	59.9	53.2	50.0	54.0	60.2	53.0	55.5	55.5
14/06	56.3	59.2	60.4	54.5	51.0	53.0	60.1	55.0	53.0	53.5
14/07	57.9	61.3	62.6	56.1	51.5	53.0	60.0	53.0	54.5	51.0
14/08	58.6	63.1	62.1	56.6	52.5	54.5	57.3	52.5	51.0	51.0
14/09	58.1	62.0	60.5	57.8	52.0	52.0	55.2	57.5	52.5	52.0
14/10	56.9	60.5	59.3	58.3	49.5	51.5	52.8	53.5	56.0	49.5
14/11	58.8	63.4	61.0	56.3	54.5	55.5	55.0	57.0	53.5	55.5
14/12	56.5	58.6	59.2	55.7	52.5	49.5	49.8	53.5	50.0	50.0
15/01	56.7	61.5	59.5	51.6	54.0	49.0	45.5	52.5	46.5	52.5
15/02	56.9	59.4	56.7	56.4	55.0	53.0	49.7	53.0	51.0	54.5
15/03	56.5	57.5	57.8	56.6	54.0	53.5	52.4	59.0	55.5	49.5
15/04	57.8	61.6	59.2	56.7	53.5	54.5	50.1	48.5	51.5	51.0

(出所) ISM

### ISM非製造業景気指数は57.8と前月比1.3%ポイント上昇

15年4月のISM非製造業景気指数(季節調整値)は、57.8と市場予想の56.2への低下に反して前月比+1.3%ポイント上昇した。構成項目では、入荷遅延が低下した一方で、活動指数、新規受注、雇用が上昇した。総合指数への構成項目別の寄与度をみると、入荷遅延(前月比▲0.13%ポイント)が押し下げ寄与となった一方、活動指数(前月比+1.03%ポイント)、新規受注(前月比+0.35%ポイント)、雇用(前月比+0.03%ポイント)が押し上げ寄与となり、総合指数は前月比1.3%ポイント上昇した。

4月のISM非製造業景気指数は、前月比で上昇したうえ、水準が高く、非製造業部門の堅調さが持続していることを示した。エネルギー価格の下落や国内需要の強さがプラスに働いている。また、拡大を示す業種数が全18業種中14業種と広がりを持って拡大している。

### 活動の拡大した業種は14業種と多く、広がりを伴った成長

活動の拡大した業種数は、全18業種中14業種(前月14業種)、縮小した業種は4業種(前月4業種)と前月から変化しなかった。また、2ヵ月連続で減少した業種は2業種にとどまっている。

拡大した業種(拡大を続けた業種には下線)は、芸術・娯楽・余暇、不動産・賃貸・リース、企業経営・支援サービス、輸送・倉庫、卸売業、金融・保険、公益、医療・社会的支援、農林水産業、行政機関、小売業、宿泊・飲食サービス、建設、教育サービス。金融・保険は、経済成長が明確化しているとほとんどの市場で示され、新築の建設投資や資本支出の伸びが明白と指摘。輸送・倉庫では、低い燃料価格がプラスの影響を及ぼ

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

していると回答。小売業は、全体的に拡大傾向にあり、支出は改善していると緩やかな拡大を報告。卸売業は、強いままであり、今後1年から1年半の見通しは良好と指摘された。

一方、縮小した業種数は、鉱業、その他サービス、専門・科学・技術サービス、情報の4業種（前月4業種）と前月と変わらなかった。専門・科学・技術サービスでは、原油価格下落の影響により石油精製部門は投資を削減していると報告された。

（注）下線は拡大を続けた業種

### 雇用DIは非製造業雇用の堅調維持を示唆

主要項目をみると、雇用DIは4月に56.7と前月比+0.1%ポイント上昇し、堅調な雇用の増加を示す水準を維持した。非製造業部門雇用者数（3カ月移動平均）の増加基調が4月もほとんど変化していないことを示唆している。

### 仕入価格DIはインフレ圧力回復を示す

仕入価格DIは、4月に50.1と前月比▲2.3%ポイント低下したが、2ヵ月連続で50を上回った。水準は高くないものの方向性としてはインフレ圧力の回復を示している。

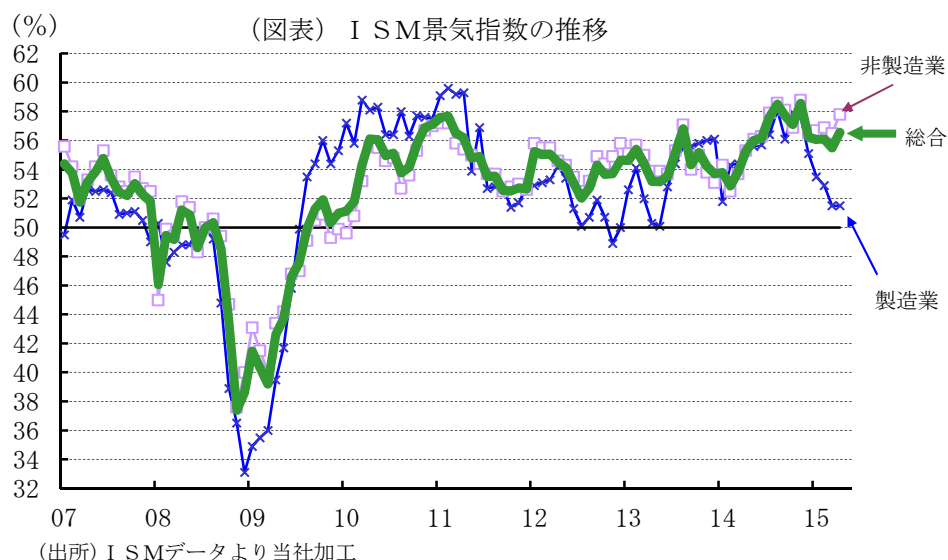
### 輸出の減少を示唆

4月の新規輸出受注DIは、48.5と前月比▲10.5%ポイント低下したうえ、拡大縮小の分岐点である50を13ヵ月ぶりに下回った。鉱業、その他サービス、小売業、専門・科学・技術サービスが縮小に転じたほか、運輸・倉庫、芸術・娯楽・余暇が変わらなくなった影響を受けた。

一方、輸入DIは、4月に51.5と前月比▲4.0%ポイント低下したが、50を上回った。小売業、鉱業、公益などの減少の影響を受けたものの、米国内需要の拡大持続やドル高を背景に卸売業、情報などが増加している。

### ISM総合景気指数は56.5と高い水準を維持

非製造業景気指数と製造業景気指数を合成したISM総合景気指数は、4月に56.5と3月の55.5から1.0%ポイント上昇し、景気減速に歯止めがかかったことを示唆している。また、ISM総合景気指数は、14年11月の58.6をピークに15年3月まで低下傾向を辿っていたが、3月でも55.5と景気の堅調さを示す水準を維持しており、1-3月期の実質GDP成長率の下振れほど経済情勢が弱くないことを示している。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。